

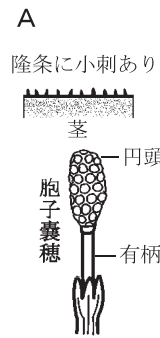
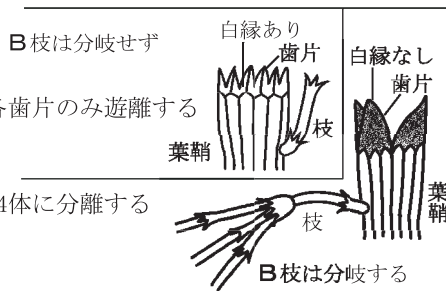
トクサ科 トクサ属 (Equisetum) 図入り検索表(1)

《茎に(やや)規則的な枝を出す個体の検索》

◆A茎の隆条に小刺がある◇穂は熟期有柄、円頭；夏緑性；孢子茎は初め枝が無いが後に枝を出す《ミズドクサ亜属Equisetum》

◆B枝は分岐せず湾曲下垂しない；鞘歯片の縁に白膜部あり；鞘は筒状で各歯片のみ遊離する(GSH道,岩手) ◇栄養茎の葉鞘は長さ0.3-1cm,孢子茎で約2cm【ヤチスギナ】

◆B枝はよく分岐し湾曲下垂する；鞘歯片は縁に白膜部がない；葉鞘は3~4体に分離する(GSH道) ◇栄養茎の葉鞘は長さ1-3cm,孢子茎で約5cm【フサスギナ】



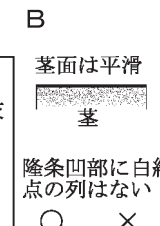
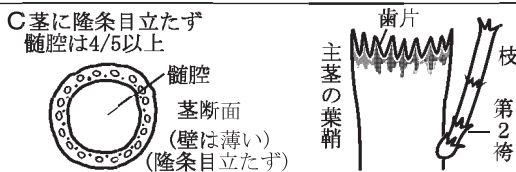
◆A茎の隆条に小刺はない

A 茎面は平滑かザラ付く(小刺はない)



◆B茎は平滑,生時の隆条間凹部に白細点の列はない◇穂は熟期有柄、円頭；夏緑性《ミズドクサ亜属Equisetum》

◆C茎表面の隆条は目立たず,髓腔は茎径の4/5以上で壁は薄い◇下部枝の最下節間(第2袴の位置)は主茎の葉鞘(袴)より短い；鞘歯片の白膜部は狭い【ミズスギナf】(ミズドクサの変異)



◆C茎の隆条はやや目立つ

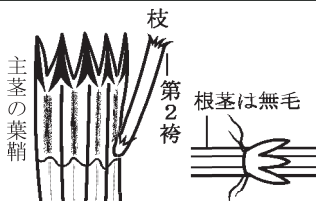
◆D髓腔は大きく茎径の3/5~1/2；枝は4~5稜で；鞘歯片は黒色(S,宮城) 【ハマスギナ(ミズスギナ×スギナ)】

D 髓腔は茎径の半分以上で大きい

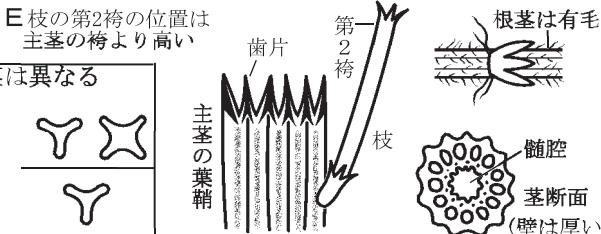
◆D髓腔は細く茎径の1/2以下

D 髓腔は茎径の半分以下で細い

◆E下部枝の最下節間(第2袴の位置)は主茎の鞘(袴)と同長◇根茎は無毛◇茎は2形あり,孢子茎と栄養茎は異なる【フォーリスギナ(イヌスギナ×スギナ)】



◆E下部枝の最下節間(第2袴の位置)は主茎の葉鞘(袴)より長い◇根茎に密毛がある

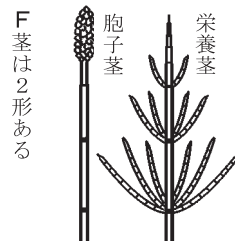


◆F茎は2形あり,孢子茎と栄養茎は異なる【スギナ*】

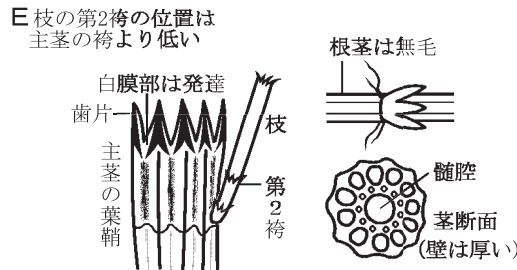
◆G下部の枝は3~4稜【スギナ*】



(SH) ◆F孢子茎と栄養茎とは同形で,栄養茎に穂が頂生する【ミモチスギナf】



◆E下部枝の最下節間(第2袴の位置)は主茎の葉鞘(袴)より短い



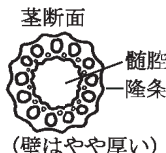
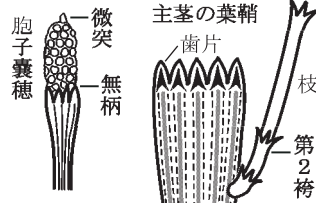
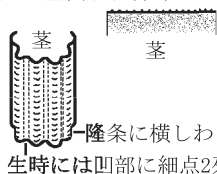
◇根茎は無毛
◇孢子茎と栄養茎とは同形
◇鞘歯片の白膜部はやや発達する(GSHKT,神奈川・長野以北,湿地) 【イヌスギナ】



◆B茎はザラ付く、生時に隆条間凹部に白細点が縦2列点線状に並ぶ；穂は熟期無柄、微突頭；常緑性《トクサ亜属Hippochaete》

◇下部枝の最下節間(第2袴の位置)は主茎の葉鞘(袴)より短い
◇枝は不規則なことが多い
◇髓腔は茎径の1/2ほど
◇孢子茎と栄養茎とは同形

B 茎面ザラ付く



(GSHKT,岩手・秋田以南,乾地~湿地,砂礫地) 【イヌドクサ】